「土木広報大賞 2019」応募用紙

<table>
<tr><td colspan="4">団体名：株式会社　建設技術研究所</td></tr>
<tr><td colspan="2">代表者氏名：中村　哲己</td><td colspan="2">所在地：東京都中央区日本橋浜町 3-21-1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当者情報</td><td>氏名：今井敬一・宮加奈子</td><td colspan="2">所属部署：国土文化研究所</td></tr>
<tr><td>電話：03-3668-4064</td><td colspan="2">E-mail：kc-imai@ctie.co.jp（今井）、k-miya@ctie.co.jp（宮）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">応募部門
（複数選択可）</td><td>☑イベント部門</td><td>☐映像・Web メディア部門</td><td>☐アイテム部門</td></tr>
<tr><td>☐教育・教材部門</td><td>☐商業広告部門</td><td>☐企画部門</td></tr>
<tr><td colspan="3">土木広報活動または作品名：「大人の社会科見学　江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり～シビルエンジニアから聞く川にまつわる話～」および関連セミナー</td><td>前回の応募：☑有</td></tr>
</table>

広報活動または作品の概要

国土文化研究所では、東京都中央区の NPO 法人などと連携し、東京都心の中小河川をめぐるクルーズ「お江戸日本橋舟めぐり」を 2009 年より継続的に実施し、年間 200 便前後運航しています。このクルーズでは、専属のガイドが主に水辺を中心とする江戸・東京のまちの発展の歴史などをご案内していますが、そのなかで、建設コンサルタントならではの舟めぐりとして、都市のインフラにもできるだけ触れるようにしてきました。2013 年からは、その歴史クルーズでの運営経験を活かし、一般の方を対象として社内のシビルエンジニアがガイドとなって都市のインフラについてわかりやすく解説を行う「大人の社会科見学　江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり　～シビルエンジニアから聞く川にまつわる話～」（川のなぜなぜ舟めぐり）を開催し、土木事業や土木技術者についての広報活動を行っています。本活動は 2013 年の第 1 回から毎年 9 月～10 月の時期に実施しています。2017 年および 2018 年の開催概要は以下のとおりです。

【第 5 回「川のなぜなぜ舟めぐり」】

開催日：2017 年 9 月 22 日(金)、26 日(火)、29 日（金）、10 月 5 日(木)、9 日(月祝)

コース：全 5 コース×各 2 便（合計 10 便）1 便所要時間 1 時間 45 分～3 時間

定員：140 名（応募総数 849 名より抽選）　　参加費：無料

【第 6 回「川のなぜなぜ舟めぐり」】

開催日：2018 年 9 月 26 日(水)、28 日(金)、10 月 3 日(水)、5 日(金)、6 日(土)

コース：全 3 コース×各 4 便ないし 2 便（合計 10 便）1 便所要時間 1 時間 45 分～3 時間

定員：140 名（応募総数 789 名より抽選）　　参加費：無料

【本活動を紹介する会社のホームページ】

http://www.ctie.co.jp/csr/infra/fune/nazenazefune/

【本活動に関連するセミナーの開催】http://www.ctie.co.jp/csr/seminar/open-seminar/tokyo/

これとは別に、国土文化研究所では 2010 年よりオープンセミナーを開催していますが、2018 年のオープンセミナーでは、「インフラツーリズム」をテーマとして、「川のなぜなぜ舟めぐり」の活動を通じたインフラツーリズムのあり方について、地域の皆さんと考える場を創出しました。セミナーの概要は以下のとおりです。

セミナー名称：第 15 回国土文化研究所オープンセミナー

「インフラをとことん楽しむ～インフラツーリズムの魅力を探る～」

開催日：2018 年 7 月 31 日（火）

会　場：日本橋浜町 F タワープラザ 3 階ホール

参加者：156 名（募集定員 120 名）

第5回「川のなぜなぜ舟めぐり」チラシと写真

第6回「川のなぜなぜ舟めぐり」チラシと写真

「第15回国土文化研究所オープンセミナー」チラシと写真

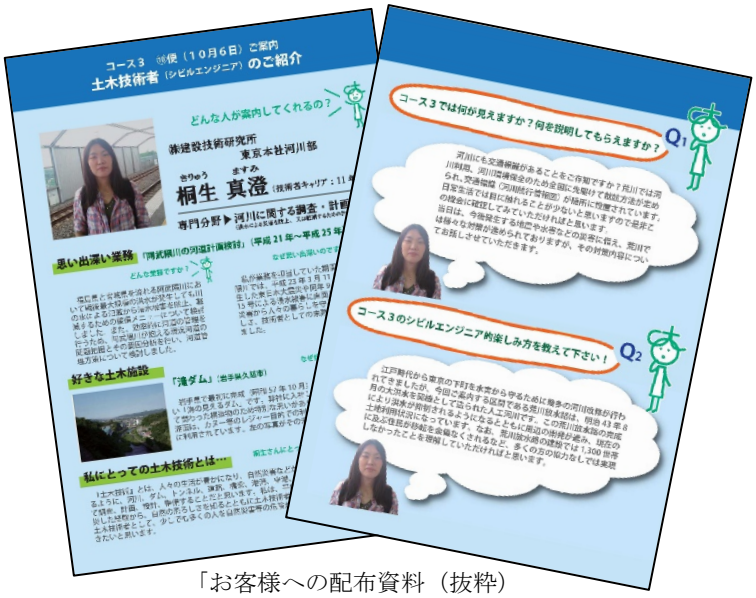
広報活動または作品の効果

【川のなぜなぜ舟めぐりへの参加者の声（アンケート結果）】

舟、乗船時間、シビルエンジニアの案内内容、コース全体のそれぞれについての満足度は、「非常に満足」「満足」が大半を占め、ほとんどの方がまた機会があれば参加したいと回答されています。自由回答からも読み取れるように、ふだんなかなか目にすることのない川からの視点で、その役割・機能が必ずしも十分に理解されていない堤防、護岸、水門、排水機場、橋梁などのさまざまな土木構造物について、実際に目の前で見ながら専門家からの解説を聞くことで、改めて「都市にはどのようなインフラがあるか」、「そのインフラが災害対策、環境保全、利便性向上などにどのように貢献しているのか」、「インフラがその機能を確実に果たすためには市民の正しい理解がいかに大切か」を知り、考えていただくきっかけに繋がっています（アンケート結果は付属資料として提出します）。

【川のなぜなぜ舟めぐりならではの特徴】

主に当社所有の環境に配慮した 10 人乗りの小型電気ボートを使用しており、静かで会話のしやすい船内で、実際にインフラの計画、設計、維持管理に携わる建設コンサルタントの技術者が自分の専門分野を中心に、自らの体験や思いを込めてガイドを行い、お客様とやりとりをすることで、土木技術者の素顔に直接触れていただきながら、質問にも答えられることも特徴の一つと考えています。



「お客様への配布資料（抜粋）

【受賞歴】

本取り組みは①「2016 環境人づくり企業大賞」奨励賞（環境省　2017 年 5 月）および②「市民社会を築く建設大賞 2018」ベストプラクティス部門優秀賞（シビル NPO 連携プラットフォーム　2018 年 10 月）を受賞しています。「市民社会を築く建設大賞 2018」では、「建設コンサルタントという事業主体の業種特性を生かし、河川を航行する船舶から社会基盤の整備について解説するサービスは独自性がある。同時に、インフラの老朽化は危機的状況にあるが、にもかかわらず社会的な関心は低いだけに、この事業の価値が際立つ。」「さまざまなインフラ施設に対する理解醸成のツールとしては有効・有益な手段といえる。」と講評をいただきました。

【活動の広がり　①　フェイスブックによる情報発信】https://www.facebook.com/funameguri/

2018 年 7 月より、フェイスブックページ「国土文化研究所舟めぐり」を立ち上げ、継続的な情報発信を行っています。これは、「川のなぜなぜ舟めぐり」の案内役をつとめてきた土木技術者たちが実際のクルーズで案内していることや、その中で伝えきれなかったこぼれ話などを、そのクルーズに参加できなかった人たちも含め、広く市民のみなさまと共有することを目的としているものです。

【活動の広がり　②　インフラツーリズムに関する講演】

第 15 回国土文化研究所オープンセミナーにおいて「川のなぜなぜ舟めぐり」の紹介をしたことをきっかけとして、インフラツーリズム推進会議が主催、土木学会・国土交通省・株式会社 JTB が後援する「インふらっとタビ　みんなで楽しもうインフラツーリズム」（2018 年 11 月 2 日　二子玉川夢キャンパス）のワークショップのなかで講演を行い、参加者との交流を深めました。

付属資料の提出	☑有・□無（どちらかに印（✔）を付けてください。）